

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校
「指定校における取組事例」

学校名	東広島市立黒瀬中学校	校長	三原 隆行	担当者名	佐藤 豊
-----	------------	----	-------	------	------

取組事例名 『クロリンピック』

生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり
----------------	------------------------------	---	----------------

取組における育てたい資質・能力

本校の学校教育目標「前向き」のもと、育成したい資質・能力の内、特に次のもの。

- <学びに向かう力> 目標に向かって工夫しながら、粘り強く取り組む生徒
<価値観・人間性> 仲間を大切にし、他者と協働・協調して課題に取り組む生徒

取組のねらい

- (1) 中止となった体育大会に代わり、平素の学習を総合的に発展させ、その成果の発表と自己の体力・技能を発揮する場とする。
- (2) 生徒が主体的に活動することにより、運営の能力と生徒会活動の活性化を図る。
- (3) 安全な行動や規律ある集団行動を通して仲間と協力し、団結することの喜びを味わわせる。

取組の具体的内容

- (1) 生徒会による体育大会代替案の提案（6月）
- (2) 企画委員会等での検討（6月）
- (3) 生徒会による具体案の企画立案（6月～8月）



3密を避けた種目を検討する生徒会執行部の様子

- (4) 練習（9月）
- (5) クロリンピック前日準備
- (6) クロリンピック当日



取組の創意工夫

- ・生徒会主体の取組となるようにする。
- (1) 実施の提案
 - ・中止になった体育大会に代わる行事の前向きなネーミング。
- (2) 3密を避けた運営
 - ・無観客での開催。
 - ・応援は拍手のみ。
- (3) 3密を避けた実施種目
 - ・ソーシャルディスタンスを確保できる種目選択。
- (4) 3密を避けた入退場
 - ・種目ごとの入場行進を行わず、スタート地点集合とする。
- (5) 前日準備
- (6) 当日の運営
 - ・生徒会主体で実施。

取組の成果と課題

成果：中止となった体育大会の代替案を生徒会中心となって企画運営することで、生徒の主体的な活動を推進することができた。また、普段の学校生活を見直し、生徒自身が学校生活を改善していこうとする意欲の向上につながった。

課題：生徒の主体的な活動を支援し高めていく校内体制について充実させていく必要がある。生徒とともに現状を見直し改善していこうとする教員側の意識や意欲に課題がある。